

知れば知るほど奥が深い

お米作りのきほんの **き**



～ レベルアップ編 水稻育苗の管理について～



昨年もお話しましたが、作物は苗半作といわれて、水稻育苗についても同じように苗の時期にしっかりと良い苗を作らないと、のちのちの生育に影響してきます。だからこそ今の時期の管理がとても大切!!育苗方法を再度確認しましょう。

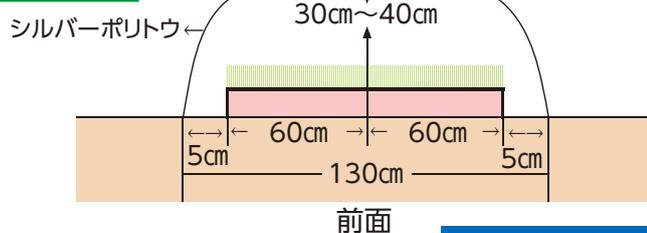
また、苗の生育中の病気として広がりやすいのが苗いもち病です。しっかりと対策をして圃場に定植してあげましょう。

硬化期の管理 (育苗センターから持ち帰った後)

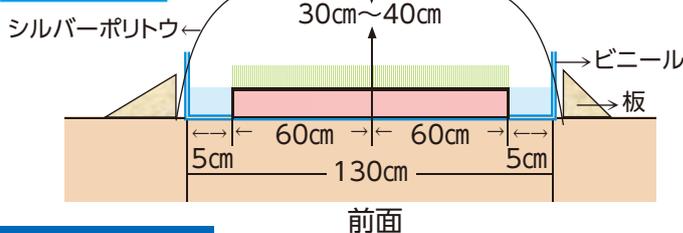
- ①水平な場所に2列ずつ広げて水稻用シルバーポリトウで覆う。 **!** 強い光に当てると生育が止まる「苗やけ」に注意!
- ②早期栽培で移植する場合は、気温が低いのでシルバーポリトウを3～4日。短期・普通期で移植する場合は、2日程度を目安に。(気温によって変更)
- ③長めにシルバーポリトウをかける場合、換気を行い灌水をした後で覆う。

! 長期間の蒸しこみによる「ムレ苗」に注意!

灌水育苗



プール育苗



シルバーポリトウを取り除いた後

- 朝、しっかり水やりをしましょう (床土が乾いているようだったら再度灌水)
- 葉が巻かないように注意!
- 朝、床土の上まで水をしっかりとためましょう (苗が水没しないように)
- 湛水することによって病気(カビ)にかかりにくい!



- 伸びが悪い場合は、くみあいミニ液肥を200倍程度希釈して灌水
- 徒長気味になる場合は、苗をなでたり、ストレスを与えると伸びが抑えられる(水を減らすなど)
- やむを得ず伸びてしまった場合は、葉先を切ってから植え付け



くみあいミニ液肥 (5ℓ)

成分：窒素10 リン酸4 カリ8
 使用方法：希釈倍率200倍以上
 5～7日おきに、希釈液を灌水を兼ねて散布

資材

苗いもち病

苗いもちは主に種子伝染で感染するので、自家育苗する種子は種子消毒を必ず行いましょう。種子消毒をしても条件により発病することがあります。葉いもちは主に育苗後に発生し、はじめ灰色の小斑点を生ずるが、苗箱内が密播だと急速に病勢が進展し、ズリコミ症状になることがあります。

対策としては、ブラシフロアブルの散布をしっかりと抑えることができるので、ひし形の病斑などが出ている時は防除を行ってから定植をしましょう。



! 特に小さい時に苗に斑点が出てきたら要注意!!!
 防除を考えてみましょう。